

ボランティア表彰 あいさつ

2019年2月6日

私は高知大学の理事をしております奥田一雄です。

本日は、「国立青少年教育振興機構」さまから、国立室戸青少年自然の家においてボランティア活動を行った本学の学生に対して、ありがたくも表彰していただきました。

まことに喜ばしく、また、ここに表彰された学生諸君を誇らしく思います。

さて、大学の内部質保証ということが、最近よく言われてきております。

これは、大学は学生に対して教育をしっかり施し、卒業するまでに社会で役に立ち、活躍できる十分な能力と資質を高めるようなしくみを整えなさいということです。

いうまでもないことですが、大学での教育は知識・技能を身に着ける授業だけでなされるわけではありません。

体育系サークルや文化系サークルでの課外活動や、インターンシップ、それからボランティア活動を通して、学生は社会で生きていくために必要なコミュニケーション能力やリーダーシップ、企画力、倫理観などを、身に着けてまいります。

なによりも大切なのは、学生が自律的・主体的に活動・体験し、それを通じて学生自身が成長していくことです。

そして、学生自身が自分の成長を実感するということが最も大事なことであり、それがひいては教育の成果になっていくのではないかと考えています。

国立青少年教育振興機構さまにおかれましては、研修を含めて学生のボランティア活動を様々なかたちで支えてきていただいております。

このことは、学生が社会で生きていく力と適応力を育てるという面で、本学の教育の重要な一端を担っていただいていることとなりますので、大変ありがたく、感謝しております。

今後とも、本学学生のボランティア活動について何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

それから、表彰されました学生諸君には今回のボランティア活動・体験を糧にして自分の生き方に活かし、さらにより充実した学修・勉学につながっていくよう期待いたします。

ありがとうございました。